

平成 27 年第 1 回竹原市議会定例会議事日程 第 2 号

平成 27 年 3 月 4 日（水） 午前 10 時開議

会議に付した事件

- 日程第 1 議案第 16 号 平成 26 年度竹原市一般会計補正予算（第 6 号）
- 日程第 2 議案第 17 号 平成 26 年度竹原市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）
- 日程第 3 議案第 18 号 平成 26 年度竹原市貸付資金特別会計補正予算（第 1 号）
- 日程第 4 議案第 19 号 平成 26 年度竹原市公共下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）
- 日程第 5 議案第 20 号 平成 26 年度竹原市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）
- 日程第 6 議案第 21 号 平成 26 年度竹原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）
- 日程第 7 議案第 22 号 平成 27 年度竹原市一般会計予算
- 日程第 8 議案第 23 号 平成 27 年度竹原市国民健康保険特別会計予算
- 日程第 9 議案第 24 号 平成 27 年度竹原市貸付資金特別会計予算
- 日程第 10 議案第 25 号 平成 27 年度竹原市港湾事業特別会計予算
- 日程第 11 議案第 26 号 平成 27 年度竹原市公共下水道事業特別会計予算
- 日程第 12 議案第 27 号 平成 27 年度竹原市公共用地先行取得事業特別会計予算
- 日程第 13 議案第 28 号 平成 27 年度竹原市介護保険特別会計予算
- 日程第 14 議案第 29 号 平成 27 年度竹原市後期高齢者医療特別会計予算
- 日程第 15 議案第 30 号 平成 27 年度竹原市水道事業会計予算

平成 27 年 3 月 4 日開議

(平成 27 年 3 月 4 日)

議席順	氏 名	出 欠
1	今 田 佳 男	出 席
2	竹 橋 和 彦	出 席
3	山 元 経 穂	出 席
4	高 重 洋 介	出 席
5	堀 越 賢 二	出 席
6	川 本 円	出 席
7	井 上 美 津 子	出 席
8	大 川 弘 雄	出 席
9	道 法 知 江	出 席
10	宮 原 忠 行	出 席
11	北 元 豊	出 席
12	宇 野 武 則	出 席
13	松 本 進	出 席
14	脇 本 茂 紀	出 席

職務のため議場に参加した者は、下記のとおりである

議会事務局長 西 口 広 崇

議会事務局次長 住 田 昭 徳

説明のため議場に参加した者は、下記のとおりである

職 名	氏 名	出 欠
市 長	吉 田 基	出 席
副 市 長	三 好 晶 伸	出 席
教 育 長	竹 下 昌 憲	出 席
総 務 部 長	中 川 隆 二	出 席
総 務 課 長	塚 原 一 俊	出 席
情 報 化 推 進 室 長	塚 原 一 俊	出 席
企 画 政 策 課 長	福 田 吉 晴	出 席
財 政 課 長	沖 本 太	出 席
税 務 課 長	向 井 聡 司	出 席
会 計 管 理 者	前 本 憲 男	出 席
会 計 課 長	前 本 憲 男	出 席
監 査 委 員 事 務 局 長	広 近 隆 幸	出 席
選挙管理委員会事務局長	広 近 隆 幸	出 席
市 民 生 活 部 長	今 榮 敏 彦	出 席
市 民 健 康 課 長	森 野 隆 典	出 席
まちづくり推進課長	國 川 昭 治	出 席
文化生涯学習室長	堀 信 正 純	出 席
忠 海 支 所 長	森 野 隆 典	出 席
人 権 推 進 室 長	博 庄八郎	出 席
福 祉 課 長	平 田 康 宏	出 席
子 ども 福 祉 室 長	井 上 光 由	出 席
建 設 産 業 部 長	細 羽 則 生	出 席
産 業 振 興 課 長	桶 本 哲 也	出 席
商 工 観 光 室 長	向 井 直 毅	出 席
建 設 課 長	大 田 哲 也	出 席
都 市 整 備 課 長	有 本 圭 司	出 席
区 画 整 理 室 長	有 本 圭 司	出 席
上 下 水 道 課 長	宮 地 憲 二	出 席
農 業 委 員 会 事 務 局 長	桶 本 哲 也	出 席
教育委員会教育次長	久 重 雅 昭	出 席
教育委員会教育振興課長	久 重 雅 昭	出 席
教育委員会学校教育課長	九十九 邦 守	出 席
公 営 企 業 部 長	宮 地 憲 二	出 席

午前１０時００分 開議

議長（北元 豊君） おはようございます。

ただいまの出席議員１４名であります。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

お手元に議事日程表第２号を配付致しております。この日程表のとおり会議を進めます。

日程第１

議長（北元 豊君） 日程第１，議案第１６号平成２６年度竹原市一般会計補正予算（第６号）を議題と致します。

事務局職員から議案を朗読させます。

〔事務局職員朗読〕

議長（北元 豊君） 市長から提案理由の説明を求めます。

市長。

市長（吉田 基君） 議案第１６号平成２６年度竹原市一般会計補正予算（第６号）について、その概要を御説明申し上げます。

今回の補正予算は、各種事業の精算見込みによる調整が主なものであります。

まず歳出であります。議会費においては、議員の報酬・活動に要する経費として、市政調査活動交付金など２９８万６，０００円を減額計上しております。

総務費においては、普通財産等管理に要する経費として、固定資産台帳整備委託料の減２８０万２，０００円、電算機器管理に要する経費として、社会保障・税番号制度対応システム整備委託料の減１０３万７，０００円、基金管理に要する経費として、財政調整基金積立金や都市基盤整備基金積立金の減３００万円、地域振興基金積立金１５４万９，０００円、竹原市議会議員選挙に要する経費として、選挙運動公費負担や時間外勤務手当などの減８４４万円、農業委員会委員選挙に要する経費として、報酬などの減１４６万１，０００円、合わせて１，５１９万１，０００円を減額計上しております。

民生費においては、特別会計歳入補填に要する経費として、国民健康保険特別会計繰出金３３３万円、保険基盤安定繰出金として、国民健康保険特別会計分２，２９５万５，０００円及び後期高齢者医療特別会計分の減２９８万８，０００円、介護保険特別会計繰出金の減６５０万４，０００円、臨時福祉給付金に要する経費として、臨時福祉給付金の減

2, 750万円, 自立支援給付に要する経費として, 障害サービス給付費などの減4, 171万6, 000円, 障害者医療対策事業に要する経費として, 重度障害者医療費の減281万9, 000円, 療養給付費に要する経費として, 療養給付費負担金の減4, 745万9, 000円, 乳幼児医療給付に要する経費として, 乳幼児医療費の減464万6, 000円, 子育て世帯臨時特例給付金に要する経費として, 子育て世帯臨時特例給付金の減590万円, 保育事業に要する経費として, 私立保育所委託料559万5, 000円, 放課後児童クラブに要する経費として, 忠海放課後児童クラブの施設整備工事費の減193万5, 000円, 母子父子家庭援護に要する経費として, 施設入所措置費の減823万5, 000円, 児童手当支給に要する経費として, 児童手当の減1, 450万円, 生活保護各扶助に要する経費として, 生活保護費2, 987万5, 000円, 合わせて1億244万7, 000円を減額計上しております。

衛生費においては, 毒ガス資料館管理運営に要する経費として, 毒ガス障害者対策に係る寄附金として地域振興基金積立金300万円, 公害対策に要する経費として, テレメーターシステム保守委託料の減210万6, 000円, 広島中央環境衛生組合に要する経費として, 当該組合への負担金の減927万3, 000円, 合わせて837万9, 000円を減額計上しております。

労働費においては, 緊急雇用対策基金事業に要する経費として, 地域産業販路拡大支援事業委託料1, 000万円を追加計上しております。

農林水産業費においては, 林道管理に要する経費として, 施設整備工事費126万6, 000円を減額計上しております。

商工費においては, 商工業振興対策に要する経費として, 中小企業融資制度預託金2, 300万円を減額計上しております。

土木費においては, 県営道路整備に要する経費として, 当該事業に係る整備負担金1, 281万2, 000円, 県営港湾整備事業に要する経費として, 当該事業に係る整備負担金の減4, 404万7, 000円, 住環境整備に要する経費として, 耐震改修促進事業補助金の減327万円, 街路事業に要する経費として, 当該事業に係る整備負担金の減330万円, 新開土地区画整理事業に要する経費として, 測量設計委託料や工事請負費などの減8, 226万7, 000円, 特別会計歳入補填に要する経費として, 公共下水道事業特別会計繰出金の減420万円, 住宅管理に要する経費として, 市営住宅に係る維持管理工事費の減560万円, 急傾斜地維持補修に要する経費として, 維持管理業務委託料などの

減１７０万円、合わせて１億３，１５７万２，０００円を減額計上しております。

教育費においては、特別会計歳入補填に要する経費として、貸付資金特別会計繰出金の減３０万１，０００円、基金歳入補填に要する経費として、アヲハタ奨学金基金繰出金の減２００万円、小中一貫校施設整備に要する経費として、忠海小中一貫校の施設整備に係る工事請負費などの減６億１，８２５万７，０００円、文化振興に要する経費として、文化芸術創造事業補助金の減３２２万４，０００円、合わせて６億２，３７８万２，０００円を減額計上しております。

災害復旧費においては、公共土木施設災害復旧に要する経費として、工事請負費１５０万円を減額計上しております。

公債費においては、当初予定していた事業債より財源的に有利な地方債を借入れしたことや地方債の借入れ時の利率が当初見込みより下がったことなどにより、元金１３９万６，０００円、利子の減７９５万２，０００円、合わせて６５５万６，０００円を減額計上しております。

これに対し、歳入であります。市税においては、法人市民税８，９００万円を減額計上しております。

また、歳出に係る特定財源においては、国庫支出金９，４７６万６，０００円、県支出金２，９７８万８，０００円、都市基盤整備基金及び貸付資金特別会計からの繰入金２億４６０万５，０００円、諸収入２，２００万円、市債４億６，３６７万２，０００円を減額計上し、財産収入３，３８３万３，０００円、寄附金４１４万４，０００円を追加計上しております。

一般財源においては、地方消費税交付金５９０万円、ゴルフ場利用税交付金１００万円、自動車取得税交付金３６０万円を減額計上し、地方譲与税９００万円、配当割交付金１，１３０万円、株式等譲渡所得割交付金９８０万円、地方特例交付金７６万４，０００円、地方交付税１億３，２１１万５，０００円を追加計上しております。

これに加え、前年度繰越金６，５５０万６，０００円を追加計上するとともに、財政調整基金繰入金２億５，８８１万円を減額することにより、収支の均衡をとっております。

以上により、歳入歳出それぞれ９億６６７万９，０００円を減額し、予算総額は、歳入歳出それぞれ１２２億５，２２０万８，０００円となるものであります。

次に、繰越明許費について御説明申し上げます。

追加分についてですが、総務費においては、社会保障・税番号制度対応システム整備事

業について、本市の基幹系システムと外部システムなど複数のシステム間での連携が必要となり、実施工期が不足するため繰り越すものであります。

労働費においては、地域産業販路拡大支援事業について、広島県緊急雇用対策基金事業の補助金を活用して、市内事業者の販路拡大等による従業員の処遇改善に取り組むものでありますが、実施期間が不足するため繰り越すものであります。

農林水産業費においては、中田万里地区圃場整備事業について、工事地区の埋蔵文化財の試掘作業及び作業結果等に伴う関係機関との調整に不測の日数を要したことなどから、実施工期が不足するため繰り越すものであります。

商工費においては、下水処理施設整備事業について、竹原工業流通団地への進出企業の工程調整に不測の日数を要したことから、実施工期が不足するため繰り越すものであります。

土木費においては、県営港湾整備事業、県営道路改良事業及び県営急傾斜地崩壊対策事業について、県事業費の繰り越しに伴い、その負担金について繰り越すものであります。

次に、変更分について、教育費においては、忠海地区小中一貫校施設整備について、2カ年で整備するため、当初予算において11億9,984万1,000円を繰り越すこととしておりましたが、補助対象事業の一部について、国庫補助金の交付決定が2年度間に分けて行われることから、有利な特定財源を確保するため、一部事業費を減額するものであります。

次に、債務負担行為について御説明申し上げます。

追加分についてですが、忠海地区小中一貫校設立においては、旧忠海中学校を小中一貫教育校の施設として整備するために必要となる改修工事に関し、その工事期間及び限度額を定めるものであります。

変更分については、公共施設等総合管理計画の策定及び新公会計基準による財務諸表の作成に対応するために必要となる固定資産台帳整備業務、また、吉名地区小中一貫校を設立するに当たり、現在の吉名中学校を小中一貫教育校の施設として整備するために必要となる設計業務等に関し、それぞれ委託業務の期間及び限度額を定めておりましたが、入札により事業費が減額となったため、当該限度額を減額するものであります。

何卒、慎重に御審議頂いた上、適切な御決定をお願い申し上げます。

議長（北元 豊君） これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） これをもって質疑を終結致します。

本件は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略致したいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） 御異議なしと認めます。よって、本案は委員会付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） これをもって討論を終結致します。

これより採決致します。

お諮り致します。

本案は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第2

議長（北元 豊君） 日程第2、議案第17号平成26年度竹原市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）を議題と致します。

事務局職員から議案を朗読させます。

〔事務局職員朗読〕

議長（北元 豊君） 市長から提案理由の説明を求めます。

市長。

市長（吉田 基君） 議案第17号平成26年度竹原市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について、その概要を御説明申し上げます。

まず歳出であります。保険給付費においては、出産育児一時金に要する経費として、出産育児一時金負担金の減252万円、葬祭に要する経費として、葬祭費負担金54万円、合わせて198万円の減額計上しております。

保健事業費においては、保健事業普及に要する経費として、重症化予防事業委託料194万4,000円を減額計上しております。

これに対し、歳入でありますが、国民健康保険税 1, 8 6 2 万 9, 0 0 0 円, 国庫支出金 1 9 4 万 4, 0 0 0 円, 共同事業交付金 2, 8 6 2 万 8, 0 0 0 円を減額計上するとともに、前年度繰越金 5 4 万 6, 0 0 0 円, 繰入金 4, 4 7 3 万 1, 0 0 0 円を追加計上し、収支の均衡をとっております。

以上により、歳入歳出それぞれ 3 9 2 万 4, 0 0 0 円を減額し、予算総額は、歳入歳出それぞれ 3 7 億 6, 2 8 8 万 6, 0 0 0 円となるものであります。

何卒、慎重に御審議頂いた上、適切な御決定をお願い申し上げます。

議長（北元 豊君） これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） これをもって質疑を終結致します。

本件は、会議規則第 3 7 条第 3 項の規定により、委員会付託を省略致したいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） 御異議なしと認めます。よって、本案は委員会付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） これをもって討論を終結致します。

これより採決致します。

お諮り致します。

本案は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第 3

議長（北元 豊君） 日程第 3、議案第 1 8 号平成 2 6 年度竹原市貸付資金特別会計補正予算（第 1 号）を議題と致します。

事務局職員から議案を朗読させます。

〔事務局職員朗読〕

議長（北元 豊君） 市長から提案理由の説明を求めます。

市長。

市長（吉田 基君） 議案第18号平成26年度竹原市貸付資金特別会計補正予算（第1号）について、その概要を御説明申し上げます。

まず歳出であります。貸付金においては、一般事務に要する経費として、一般会計繰入金524万4,000円、貸付金に要する経費として、修学支度金などの減254万円、合わせて270万4,000円を追加計上しております。

これに対し、歳入であります。諸収入300万5,000円を追加計上するとともに、繰入金30万1,000円を減額計上し、収支の均衡をとっております。

以上により、歳入歳出それぞれ270万4,000円を追加し、予算総額は、歳入歳出それぞれ1,365万9,000円となるものであります。

何卒、慎重に御審議頂いた上、適切な御決定をお願い申し上げます。

議長（北元 豊君） これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） これをもって質疑を終結致します。

本件は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略致したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） 御異議なしと認めます。よって、本案は委員会付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） これをもって討論を終結致します。

これより採決致します。

お諮り致します。

本案は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第4

議長（北元 豊君） 日程第4，議案第19号平成26年度竹原市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）を議題と致します。

事務局職員から議案を朗読させます。

〔事務局職員朗読〕

議長（北元 豊君） 市長から提案理由の説明を求めます。

市長。

市長（吉田 基君） 議案第19号平成26年度竹原市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）について、その概要を御説明申し上げます。

まず歳出であります。公共下水道費においては、公共下水道事業に要する経費として、污水管及び雨水管等の整備に係る事業費の精算等により3,940万円を減額計上しております。

これに対し、歳入であります。国庫支出金2,120万円、市債1,400万円、繰入金420万円を減額計上し、収支の均衡をとっております。

以上により、歳入歳出それぞれ3,940万円を減額し、予算総額は、歳入歳出それぞれ7億2,412万4,000円となるものであります。

何卒、慎重に御審議頂いた上、適切な御決定をお願い申し上げます。

議長（北元 豊君） これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） これをもって質疑を終結致します。

本件は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略致したいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） 御異議なしと認めます。よって、本案は委員会付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） これをもって討論を終結致します。

これより採決致します。

お諮り致します。

本案は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第5

議長（北元 豊君） 日程第5，議案第20号平成26年度竹原市介護保険特別会計補正予算（第3号）を議題と致します。

事務局職員から議案を朗読させます。

〔事務局職員朗読〕

議長（北元 豊君） 市長から提案理由の説明を求めます。

市長。

市長（吉田 基君） 議案第20号平成26年度竹原市介護保険特別会計補正予算（第3号）について、その概要を御説明申し上げます。

まず歳出であります。総務費においては、一般事務に要する経費として、システム改修委託料の減400万円、介護認定調査に要する経費として、訪問調査委託料の減100万円、合わせて500万円を減額計上しております。

基金積立金においては、基金管理に要する経費として、介護給付費準備基金積立金818万7,000円を追加計上しております。

これに対し、歳入であります。国庫支出金150万4,000円、支払基金交付金818万7,000円を追加計上するとともに、繰入金650万4,000円を減額計上し、収支の均衡をとっております。

以上により、歳入歳出それぞれ318万7,000円を追加し、予算総額は、歳入歳出それぞれ33億4,036万8,000円となるものであります。

何卒、慎重に御審議頂いた上、適切な御決定をお願い申し上げます。

議長（北元 豊君） これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） これをもって質疑を終結致します。

本件は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略致したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） 御異議なしと認めます。よって、本案は委員会付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） これをもって討論を終結致します。

これより採決致します。

お諮り致します。

本案は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第6

議長（北元 豊君） 日程第6，議案第21号平成26年度竹原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）を議題と致します。

事務局職員から議案を朗読させます。

〔事務局職員朗読〕

議長（北元 豊君） 市長から提案理由の説明を求めます。

市長。

市長（吉田 基君） 議案第21号平成26年度竹原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について、その概要を御説明申し上げます。

まず歳出であります。分担金及び負担金においては、保険料等負担に要する経費として、保険料等負担金965万9,000円を減額計上しております。

これに対し、歳入であります。後期高齢者医療保険料667万1,000円、繰入金298万8,000円を減額計上し、収支の均衡をとっております。

以上により、歳入歳出それぞれ965万9,000円を減額し、予算総額は、歳入歳出それぞれ4億2,217万4,000円となるものであります。

何卒、慎重に御審議頂いた上、適切な御決定をお願い申し上げます。

議長（北元 豊君） これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） これをもって質疑を終結致します。

本件は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略致したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） 御異議なしと認めます。よって、本案は委員会付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） これをもって討論を終結致します。

これより採決致します。

お諮り致します。

本案は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第7～日程第15

議長（北元 豊君） お諮り致します。

日程第7，議案第22号平成27年度竹原市一般会計予算から日程第15，議案第30号平成27年度竹原市水道事業会計予算までの9会計予算を一括議題と致したいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） 御異議なしと認めます。よって、平成27年度9会計予算を一括議題とすることに決しました。

事務局職員から議案を朗読させます。

〔事務局職員朗読〕

議長（北元 豊君） 市長から提案理由の説明を求めます。

市長。

市長（吉田 基君） 平成27年度当初予算を提出するに当たり、その概要を御説明致し

ますとともに、市政運営について所信の一端を述べ、議員各位及び市民の皆様の御理解を頂きたいと存じます。

さて、我が国において、世界に先駆けて人口減少局面に入っている中、今後、さらに人口減少が加速度的に進むことによって生じる消費・経済力の低下は、日本の経済社会に対して大きな重荷となっていくことが懸念されております。

このため政府は、人口減少への対応が喫緊の課題であるとの認識から、まち・ひと・しごと創生により、人口減少の克服と地方創生をあわせて行うことで、活力ある日本社会の維持を目指し、取組を進めていく方向を示しております。

本市におきましては、こうした国の取組に先んじて、人口減少に対応するため「ふるさと竹原の強みを活かした更なる挑戦」をテーマとした竹原市総合計画の後期基本計画を策定し、特に力を入れて取り組んでいく施策を「チャレンジプロジェクト」として位置付けて、雇用の場の確保や子育て環境の充実などに取り組んでいるところであります。

平成27年度当初予算は、その後期基本計画の考え方にに基づき、「未来へ続く 持続可能なまちづくりにつなげていく予算」と考え、3つの重点項目を踏まえて編成を行いました。

1点目は、「ふるさと竹原の強みを活かした施策」であります。

市民の多様なニーズに対応しながら、市民満足度のさらなる向上を図っていくことはもちろんのこと、人口減少が進んでいる現状に対して、積極的な取組を進めることで、「活力」ある竹原を取り戻してまいりたいと考えております。

このために、特に人口減少に対して歯止めをかける効果が高いと考えられる「産業振興」と「次世代育成」の2つの分野に対して、予算の重点配分を行うなど、国の地方創生の取組に呼応しながら、人口減少への対応を図ってまいります。

次に2点目は、「将来的財政負担の増加への対応」であります。

広く市民が住みよさを実感しながら、いつまでも竹原の強みを活かした特色ある施策を推進し続けていくためには、将来にわたり持続可能な財政運営が必要であります。

このために、「社会保障関連経費」につきましては、予防や自立支援などの取組をさらに強化することにより、増加の抑制を図るとともに、「公共施設関連経費」につきましては、将来に向けた長寿命化のための工事や適切な維持管理を行うことで、将来的に大きな財政負担とならないように取り組んでまいります。

そして3点目は、「計画的で効率的な行財政運営の推進」であります。

中・長期的な組織目標や見通しを踏まえる中で、経営的な視点を持ちながら、各種施策を実施することは、行財政運営を行う上で非常に重要であります。

このために、事務事業の見直しや資産管理の適正化、民間の力の活用を図るとともに、これまで積み立ててきた各種基金を有効に活用するなど、計画的で効率的な行財政運営を進めてまいります。

こうした3点の重点項目を踏まえた上で編成した予算に盛り込んだ、総合計画の6つの主要な施策から「活力」をキーワードに設定したチャレンジプロジェクトについて、御説明申し上げます。

第1に、子どもが夢を持ち人が輝くまちづくりへの挑戦についてであります。

人々が生きがいを感じ、子どもが夢や目標を持ち、一人一人が輝くことで、まちも輝いてまいります。このため、安心と自信を持って子育てができる環境の充実、次代を担う子どもの育成、生涯にわたり地域で生き生きと活躍できる生涯学習の推進に取り組んでまいります。

子育て環境の充実につきましては、子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、幼稚園や保育所及び認定こども園における子育て支援サービスの給付を行うとともに、この制度改正により負担増となる第3子以降の3歳以上児の保育料について、新たに負担軽減対策を行ってまいります。

教育環境の充実につきましては、忠海地区小中一貫校の施設整備に引き続き取り組むほか、吉名地区小中一貫校の施設整備に向け、設計業務に要する経費を計上しております。

また、小学校のパソコン教室に配備しているデスクトップ型のパソコンをタブレット型のパソコンに更新し、電子黒板と連携させるなど様々な授業で活用していくことにより、ICT活用教育の推進を図ってまいります。

新たな生涯学習の仕組みづくりにつきましては、学びの成果を地域の課題解決や魅力づくりなどに生かす取組を行ってまいります。

第2に、人が集まる元気なまちづくりへの挑戦についてであります。

まちに活力を得るためには、一人一人が希望を持って働き、地域ににぎわいがあることが肝要であります。このため、企業誘致や農林水産業の活性化により、働く場の確保や地域を支える担い手の育成などに取り組むとともに、本市の特色を生かした観光振興にも力を入れて取り組んでまいります。

企業誘致の推進と雇用の確保につきましては、市内に工場等の新設や増設をする企業に

対して奨励金を交付することにより、工場等の立地を促進し、雇用機会の拡大を図るとともに、市内中小企業者の育成・支援のため、引き続き中小企業預託融資制度を低利で運用してまいります。

農林水産業の振興につきましては、吉名漁港に堆積した土砂を撤去することとし、漁港機能の維持向上を図るとともに、昨年度に引き続き、地域おこし協力隊員として、都市住民など地域外の人材を地域の担い手として受け入れ、農産物の生産、地域産品を活用した商品開発、販路拡大の支援や地域活動の活性化を図ることとしております。

観光の振興につきましては、本市を舞台にしたアニメ「たまゆら」やNHK連続テレビ小説「マッサン」を活用した誘客促進に引き続き取り組んでまいります。

第3に、健やかで支え合う安心のまちづくりへの挑戦についてであります。

一人一人が健やかに過ごし、市民が支え合うことは、安心して暮らせるまちの基本となります。このため、医療体制の充実、健康づくりの推進や高齢者福祉、障害者福祉等の充実、また、消費者行政の推進など、地域で安心して生き生きと暮らし続けることができる体制づくりに力を入れて取り組んでまいります。

医療提供体制の充実につきましては、引き続き、休日診療所の運営等を行い、体制の確保に努め、健康づくりの推進につきましては、メタボリックシンドロームに着目した特定健診について、自己負担を無料化し、受診率の向上を図ります。

このほか、消費者行政につきましては、地域や関係団体との連携を深めながら、悪質商法や消費者トラブルの相談体制の充実と啓発活動に引き続き取り組んでまいります。

第4に、竹原の持つ住みよい環境づくりへの挑戦についてであります。

一人一人がふるさとの自然や歴史文化に誇りを持つことや、生活環境が整っていることは、住み続けたいまちの大切な条件であります。このため、住環境の整備や町並み保存地区を初めとした文化財のさらなる活用、魅力づくりに力を入れて取り組んでまいります。

住環境の整備につきましては、市営住宅の整備のほか、公共施設への太陽光発電システムの導入を図ってまいります。

町並み保存地区の活用、魅力づくりににつきましては、後世に貴重な文化財を継承するため、町並み保存地区のシロアリ駆除に対し、新たに補助を行ってまいります。

第5に、安全でしっかりとした都市基盤づくりへの挑戦についてであります。

一人一人が安全で快適に暮らし、まちの活力を高めていくためには、それを支える基盤が大切です。このため、人口減少社会に対応したコンパクトなまちづくりへの推

進、災害に強いまちづくりに力を入れて取り組んでまいります。

コンパクトなまちづくりの推進につきましては、市役所周辺の公共施設の集約や複合化を図るため、基本計画の策定を行ってまいります。

防災体制づくりの推進につきましては、光ケーブル網を活用した防災情報の告知放送設備について、整備を推進してまいります。

最後に、みんなで築くまちづくりへの挑戦についてであります。

まちづくりを推進していくためには、地域を一番よく知っている市民と行政がともに知恵を出し合うことが大切であります。このため、市民が様々な地域活動などに自由に参加し、生き生きと活躍できる協働のまちづくりを推進するとともに、気軽に集い、議論と交流を深めていくための地域の活動拠点づくりに力を入れて取り組んでまいります。

協働のまちづくりの推進につきましては、自治会及び住民自治組織の活動を引き続き支援してまいります。

以上、6つの施策を主なものとして当初予算を編成した結果、一般会計の予算総額は、131億307万9,000円で、前年度と比較し、1.0%の増となっております。

次に、国民健康保険特別会計について御説明申し上げます。

本会計は、地域住民の相互扶助の精神に立脚した地域保険として、住民の健康保持、生活の安定と向上に大きく寄与し、国民皆保険制度の中核としての役割を果たすものであります。

今年度は、都道府県単位で医療費負担を調整する制度の対象が拡大したため、保険財政共同安定化事業拠出金が増加しております。

予算総額は、41億331万2,000円で、前年度と比較し10%の増となっております。

次に、貸付資金特別会計について御説明申し上げます。

本会計は、経済的理由により高等学校などへの就学が困難な方に対し、必要な資金の貸付けを行い、修学の途を開くものであります。

予算総額は、1,029万2,000円で、前年度と比較し6.1%の減となっております。

次に、港湾事業特別会計について御説明申し上げます。

本会計は、地方港湾竹原港及び忠海港の港湾施設について、県から委託を受け、港湾施設使用料を充てて管理運営をするものであります。これまで海の玄関口として港湾施設管

理に努めてまいりましたが、本年度も一般会計における港湾施設整備と整合性を保ちながら、適切な管理運営に努めてまいります。

予算総額は、4,296万5,000円で、前年度と比較し、15.5%の減となっております。

次に、公共下水道事業特別会計について御説明申し上げます。

本会計は、市民の安全で快適な暮らしの実現に向けて、公共水域の水質保全及び市街地の浸水対策のため、公共下水道の整備促進を図るものであり、本年度は引き続き面整備区域の拡大を図るとともに汚水幹線の整備を実施してまいります。

予算総額は、7億4,493万2,000円で、前年度と比較し2.4%の減となっております。

次に、公共用地先行取得事業特別会計について御説明申し上げます。

本会計は、事業の推進に当たり、土地の先行取得を必要とする事態が生じた時に対応するものであります。本年度は、存目として1,000円を計上しておりますが、今後先行取得の必要が生じた場合、当会計をもって適正に対応致します。

次に、介護保険特別会計について御説明申し上げます。

本会計は、介護を必要とする高齢者等を社会全体で支えるものであります。高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、総合的な介護サービスを提供するとともに、介護予防に努め、地域包括ケアシステムの構築を推進してまいります。

予算総額は、33億3,795万7,000円で、前年度と比較し0.6%の増となっております。

最後に、後期高齢者医療特別会計について御説明申し上げます。

本会計は、県内全市町が加入する広島県後期高齢者医療広域連合へ支払う保険料が予算の主なものとなっております。

予算総額は、4億4,247万8,000円で、前年度と比較し2.5%の増となっております。

平成27年度当初予算は、これまで取り組んできた各施策を、引き続き着実に実施することに加え、今やらなければならないことにしっかりと取り組んでいく、そういった予算であります。一般会計においては多額の財政調整基金を繰り入れる大変厳しいものとなっております。今後、庁舎移転、市民館や図書館など公共施設の再整備事業などを視野に入れ

ますと、これまで以上に厳しい財政状況の中で、市政のかじ取りを行っていかねばなりません。

こうした状況を乗り切るためには、市民の皆様の御理解を頂きながら、職員が危機感を持って業務に取り組むとともに、国や県の補助制度を活用するなど、これまで以上に計画的で効率的な行財政運営を進めてまいりたいと考えております。

そして、竹原市総合計画の後期基本計画のテーマとした「ふるさと竹原の強みを活かした更なる挑戦～人口減少社会に対応した活力ある竹原市をめざして～」を踏まえ、「住みよさ実感」の実現に向けて、市民の皆さん一人一人が輝いていくように、前を向いて、しっかりとまちづくりに取り組んでまいります。

平成27年度竹原市水道事業会計予算について、その施策の概要を御説明申し上げます。

水道事業の使命は、安全な水を豊富に、かつ安定的にできるだけ低廉に供給し、企業の経済性を発揮するとともに、その本来の目的である公共の福祉の増進と産業経済の発展に寄与することを目的とするものであります。

本市における水の需要量につきましては、平成26年度は水需要の多くなる夏季に西日本で平成15年以来11年ぶりに冷夏となるなどの気象条件や人口の減少などにより、一般用を中心とする生活関連用水や工業用水については、若干減少しております。なお、建設工事などで利用される臨時用水については、増加しているところであります。

平成26年度決算見込みによりますと、一般用が対前年度決算比2.8%の減、工業用が対前年度決算比4.1%の減、臨時用においては、対前年度決算比162.8%の増を見込んでおります。

平成27年度予算編成に当たりましては、合理的な事業の推進と経費節減に努め、水道事業の継続的かつ効率的経営と安定供給体制の強化に資する施策として、水源地や配水池などの設備機器等の更新や修繕、配水管の布設替え工事などを計画的に実施します。

収益性の向上に努め、最少の経費をもって最大の効果を上げるべく予算措置を致しました結果、1,193万9,000円の利益を見込んでおります。

内容について申し上げますと、業務の予定量につきましては、給水件数1万3,438件、年間給水量596万4,574立方メートル、1日平均給水量1万6,341立方メートルを見込んでおります。

主要な建設改良事業につきましては、老朽施設の更新、配水管の布設替え工事を市内8

地区において総延長2,010メートルを実施し、また、水源地、配水池及び加圧ポンプ所等の流量計、水位計及びポンプの更新取り替え工事、制御盤等の改造工事、防雷システム設置工事などを実施することと致しております。

以上の施策を主なものとし、予算編成を行いました結果、平成27年度竹原市水道事業会計予算規模は、9億117万円となり、対前年度比10.7%の減となっております。

何卒、慎重に御審議頂いた上、適切な御決定をお願い申し上げます。

議長（北元 豊君） お諮り致します。

ただいま議題となっております日程第7、議案第22号平成27年度竹原市一般会計予算から日程第15、議案第30号平成27年度竹原市水道事業会計予算までの9件につきましては、議員全員をもって構成する予算特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することにしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（北元 豊君） 御異議なしと認めます。よって、日程第7、議案第22号平成27年度竹原市一般会計予算から日程第15、議案第30号平成27年度竹原市水道事業会計予算までの9件につきましては、議員全員をもって構成する予算特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することに決しました。

議事の都合により、3月5日午前10時から会議を再開することとし、本日はこれにて散会致します。

午前11時20分 散会